

# BTMU CHINA WEEKLY

## EXPERT VIEW:【日系企業のための中国法令・政策の動き】

今回は2013年9月上旬から中旬にかけて公布された法令をとりあげました。一部それ以前に公布され、公表が遅れたものを含んでいます。

### [行政法規]

○「国務院の養老サービス業の発展加速に関する若干の意見」（国発[2013] 35号、2013年9月6日発布・実施）

中長期の養老サービス（高齢者向けサービス）の発展指針を示したものの。60才以上の高齢者は2012年末で1.94億人、2020年では2.43億人と予想されるが、これを踏まえ、2020年までに「家庭を基礎とし、地域コミュニティに依存し、機構を支柱とする」サービス体系を全面的に構築することが目標とされている。■具体的には、全ての都市の地域コミュニティにデイケアセンター、高齢者活動センターなどのサービス施設を設置し、90%以上の小都市と60%以上の農村の地域コミュニティに総合サービス施設を設置する、など。

○「国務院の大気汚染防止行動計画の印刷・発布に関する通知」（国発[2013] 37号、2013年9月10日発布・実施）

2017年までの粒子状物質（PM10、PM2.5）の削減計画。数値目標は、2017年までに2012年比で、①地区级以上の都市のPM10濃度を10%以上削減する、②同じくPM2.5濃度は北京・天津・河北で25%程度、長江デルタで20%程度、珠江デルタで15%程度削減する、③北京市のPM2.5濃度を年平均 $60\mu\text{g}/\text{m}^3$ とする。■対策としては、①2017年までに地区级以上の都市では蒸気量10トン/時間以下の石炭ボイラーを淘汰し、20トン/時間以下の新規建設を禁止する、②工事現場での“開放式”作業を厳禁し、道路の路面を固める、■③自動車関連では、i)北京・上海・広州などの特大都市の自動車保有台数を厳格に規制する、ii)自動車ガソリン有毒物質排出基準について、2013年末までに全国で第4レベルのガソリンを供給し、2014年末までに全国で第4レベルのディーゼル油を供給し、2015年末までに北京・天津・河北、長江デルタ、珠江デルタなどの重点都市で第5レベルのガソリンとディーゼル油を供給し、2017年末までに全国で第5レベルのガソリンとディーゼル油を供給する、iii)2015年までに2005年以前に登録した排出基準に満たない“黄標車”を淘汰（北京・天津・河北、長江デルタ、珠江デルタでは500万台を淘汰）し、2017年までに全国範囲で基本的に淘汰する、iv)2017年以降、新規に生産される低速貨物車に軽型貨物車と同等の性能・排出基準を適用する、など35項目があげられている。

### [規則]

○「『中華人民共和国国際海運条例実施細則』改正に関する決定」（交通運輸部令2013年第9号、2013年8月29日公布・施行）

今年7月に「中華人民共和国国際海運条例」（以下、「条例」と略称）が改正されたのに伴い、「実施細則」が改正されたもの。■主な変更点は、①改正「条例」で、国際船舶代理業の企業設立・変更、分公司設立、合併・買収について、交通運輸部の認可が不要とされたのを受け、交通運輸部への届出に変更されたこと（ただし、外商投資企業の設立について、交通運輸部の認可を要件としている点は変わらない）、②改正「条例」で、外国の国際船舶運輸経営者と国際海運補助企業の常駐代表機構の設立認可が不要とされたのを受け、関連条項が削除されたこと。

<p>○「税関総署の広東省行政審査認可制度改革における税関保税監督管理業務にかかる関連問題に関する公告」(税関総署公告 2013 年第 51 号、2013 年 9 月 2 日公布・実施)</p> <p>○「国家発展改革委員会の国内精製油価格の引き上げに関する通知」(发改電 [2013] 184 号、2013 年 9 月 13 日発布・実施)</p>	<p>昨年 12 月末、広東省での行政審査認可制度改革に関して、法律に定められる行政審査認可事項 (25 項目) の調整権限を国务院に授与することが全人代常務委員会で決定されたが、そのうち税関が所管する加工貿易関連事項について取扱いを示したもの。  <b>■</b>①広東省内の加工貿易企業の契約届出登記・変更の際は、「加工貿易業務批准証」、「ネットワーク企業加工貿易業務批准証」及びそれらの変更証明の提出を不要とする、②広東省内で異地加工貿易(注:税関管轄地区を越えた原材料輸入企業と加工企業間の委託加工取引のこと)を行う場合、「加工貿易業務批准証」の提出を不要とする、③保税貨物の国内販売を申請する場合、「加工貿易保税輸入原材料国内販売批准証」の提出を不要とする、など。</p> <p>ガソリンとディーゼル油の引き上げ。8 月 30 日に続く引き上げ。卸売・小売価格とも、ガソリンがトン当たり 90 元、ディーゼル油が同じく 85 元の引き上げとなった。</p>
---	---

(本シリーズは、原則として隔週で掲載しています。)

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社  
 海外アドバイザー事業部  
 池上隆介

# CHINA WEEKLY

## WEEKLY DIGEST

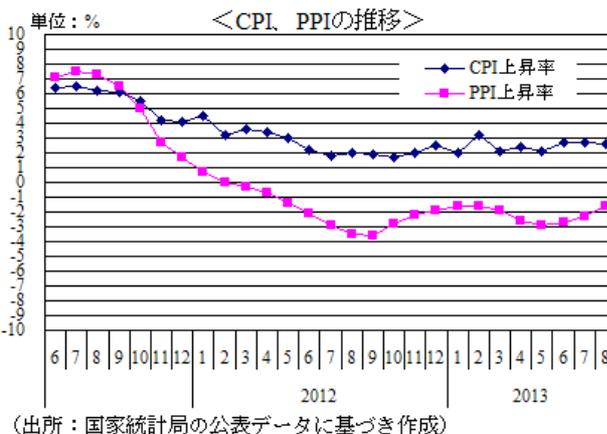
### 【経済】

#### ◆8月の主要経済指標 生産、投資、消費いずれも改善

国家統計局の10日の発表によると、8月の工業生産（付加価値ベース）は前年同月比+10.4%と、7月から0.7ポイント上昇し、1年5ヶ月ぶりの高水準となった。1-8月累計の固定資産投資は前年同期比+20.3%となり、伸び率は1-7月比0.2ポイント増加した。産業別では、第一次産業が同+32.0%、第三次産業が同+23.0%と、1-7月の伸びに比べ、それぞれ▲0.8ポイント、▲0.1ポイント下落する一方、第二次産業は同16.6%と0.6ポイント増加した。8月の社会消費財小売総額は1兆8,886億元で前年同月比+13.4%と、前月から0.2ポイント増加した。8月の消費者物価上昇率（CPI）は前年同月比+2.6%となり、前月の+2.7%からほぼ横ばいで、品目別では、食料品が前年同月比+4.7%、非食料品は同+1.5%だった。また、8月の工業生産者出荷価格（PPI）は前年同月比▲1.6%となり、前月よりマイナス幅は0.7ポイント縮小した。

<8月の主要経済指標>

項目	金額	前年比(%)
固定資産投資(除く農村企業投資)*	(億元) 262,578	20.3
第一次産業	(億元) 5,787	32.0
第二次産業	(億元) 113,237	16.6
第三次産業	(億元) 143,554	23.0
民間固定資産投資*	(億元) 166,964	23.3
工業生産(付加価値ベース)**	-	10.4
社会消費財小売総額	(億元) 18,886	13.4
消費者物価上昇率(CPI)	-	2.6
工業生産者出荷価格(PPI)	-	▲1.6
工業生産者購買価格	-	▲1.6
輸出	(億米ドル) 1,906.1	7.2
輸入	(億米ドル) 1,620.9	7.0
貿易収支	(億米ドル) 285.2	-



\*：1～8月の累計ベース。

\*\*：独立会計の国有企業と年間販売額2,000万元以上の非国有企業を対象。

(出所：国家統計局等の公表データに基づき作成)

#### ◆李克強首相 今年の経済発展目標は達成可能 夏季ダボス会議で講演

李克強首相は11日、遼寧省大連市で開催された夏季ダボス会議において、グローバル金融危機後、世界経済が複雑な様相を呈する中、中国経済は成長が鈍化し、ハードランディングを懸念する声も上がっているが、足元の経済情勢は基本的に良好で、経済運営は全体的に安定しているとの認識を示した。今年に入り、成長率が第1四半期は7.7%、第2四半期は7.5%へと鈍化する中、当局は金融市場の流動性管理、貸付資金の実体経済への投入拡大、貿易利便性向上策による輸出入の安定成長、金融・石油・電力等分野への民間資本導入等、安定成長、構造調整、改革促進をバランス良く進める措置を講じてきたことで、7、8月の工業生産、輸出入が回復し、製造業PMI指数も上昇、雇用は拡大、物価水準も総じて安定する等、回復基調にあるとし、経済回復の基盤は未だ磐石とは言えず、不透明要素も多く残ってはいるものの、今年の経済発展目標は達成可能であるとの見方を明らかにした。また、中国経済は既に中高速成長の段階に入ったとし、引き続き工業化、都市化の過程にあり、地域経済の発展の余地は大きく、市場の潜在力も巨大であることから、長期に亘って経済の持続的かつ健全な発展を維持できる力と条件を備えているとの自信も示した。なお、今後の金融改革について、金利の市場化、資本市場の多層的発展、人民元の資本取引の自由化を推進していく等の方針を改めて強調した。

#### ◆8月の輸出入ともに2ヶ月連続のプラスの伸び

税関総署の8日の発表によると、8月の輸出入は前年同月比+7.1%の3,526.98億米ドルとなり、7月の伸び率+7.8%から小幅に鈍化した。うち、輸出は同+7.2%の1,906.08億米ドルと伸びが前月の+5.1%から上昇した一方、輸入は同+7.0%の1,620.90億米ドルと前月の+10.9%から低下したものの、輸出、輸入ともに2ヶ月連続でプラスの伸びを示した。1-8月の累計では、輸出入が前年同期比+8.3%の2兆7,043.14億米ドル、輸出が同+9.2%の1兆4,292.60億米ドル、輸入が同+7.3%の1兆2,750.54億米ドルとなっている。1-8月累計の貿易相手国・地域別では、日本との輸出入が前年同期比▲8.5%、うち、輸出は同▲3.4%、輸入は同▲12.7%と引き続きマイナスの伸びとなったものの、1-7月の伸び率（輸出入が同▲8.8%、輸出が同▲3.5%、輸入が同▲13.2%）に比べ、減少幅が縮小した。また、EUとの輸出入も同▲1.1%とマイナスだったが1-7月（同▲1.8%）から減少幅は縮小している。なお、香港との輸出入は同+30.0%と引き続き大きな伸びを示したものの、1-6月同+40.2%、1-7月同+34.1%と、伸びは低下傾向にある。一方、ASEANは1-8月が+12.5%、米国は同+6.6%と、それぞれ1-7月の+12.4%、+6.2%から僅かに伸びが拡大した。

産業】

◆8月の自動車販売 前年同月比 10.3%の伸び

中国自動車工業協会の10日の発表によると、8月の自動車販売台数は前年同月比+10.3%の164.89万台と前月の同+9.9%から上昇して2桁台の伸びを回復し、生産台数も同+11.7%の167.72万台と伸びが前月の同+10.2%から上昇した。1-8月の累計販売台数では、前年同期比+11.8%の1,394.76万台と10%超の伸びを維持したものの、1-7月の同+12.2%から僅かに縮小している。8月単月の車種別販売では、乗用車が同+11.0%の135.32万台、商用車が同+7.0%の29.57万台となっている。8月単月の乗用車販売の国別では、中資系が前年同月の44.41万台から15.8%増加して51.44万台、外資系は、独系が25.40万台から29.32万台、米国系が15.00万台から17.71万台へと販売台数を伸ばす中、日系は22.69万台から20.58万台へと9.3%減少した。国別シェアでも、中資系が前年同月の36.4%から38.0%へ、独系は20.8%から21.7%へ、米国系は12.3%から13.1%へといずれもシェアを拡大した一方、日系は18.6%から15.2%へとシェアを落とした。

【金融・為替】

◆8月の人民元新規貸出 7,113 億元 前年同月比 74 億元増加

中国人民銀行の10日の発表によると、8月の人民元新規貸出額は7,113億元となり、前年同月から74億元増加し、8月の社会融資規模（注）は1兆5,700億元と、前年同月比3,212億元増加した。また、8月末の外貨貸出残高は前年同月比26.2%増加して7,513億米ドルとなった。8月末のマネーサプライ（M2）は前年同月比+14.7%の106兆1,200億元となり、伸び率は前月比+0.2ポイント、前年同月比+1.2ポイントとそれぞれ増加し、8ヶ月連続で政府の通年目標+13%を上回った。また、同時に発表された8月のクロスボーダー人民元決済額は、経常項目が3,521億元、うち、貨物貿易が2,242億元、サービス貿易及びその他が1,279億元。資本項目が億元490億元、うち、対外直接投資が213億元、対内直接投資が277億元となっている。

（注）：社会融資規模＝人民元貸出+外貨貸出+委託貸出+信託貸出+銀行引受手形+企業債券+非金融企業株式融資+保険公司賠償+投資用不動産+その他

人民元の動き

日付	USD				JPY(100JPY)		HKD		EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数	
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比		指数	前日比
2013.09.09	6.1155	6.1151~6.1220	6.1210	0.0005	6.1565	0.0124	0.78922	0.0002	8.0719	0.0409	3.5700	2316.30	76.07
2013.09.10	6.1190	6.1182~6.1214	6.1200	-0.0010	6.1176	-0.0389	0.78925	0.0000	8.1097	0.0378	3.6300	2342.86	26.56
2013.09.11	6.1197	6.1183~6.1201	6.1185	-0.0015	6.1063	-0.0113	0.78910	-0.0001	8.1202	0.0105	3.3800	2346.11	3.25
2013.09.12	6.1170	6.1167~6.1189	6.1180	-0.0005	6.1465	0.0402	0.78901	-0.0001	8.1336	0.0134	3.5700	2361.20	15.09
2013.09.13	6.1176	6.1168~6.1190	6.1188	0.0008	6.1432	-0.0033	0.78906	0.0000	8.1343	0.0007	3.5900	2341.05	-20.15

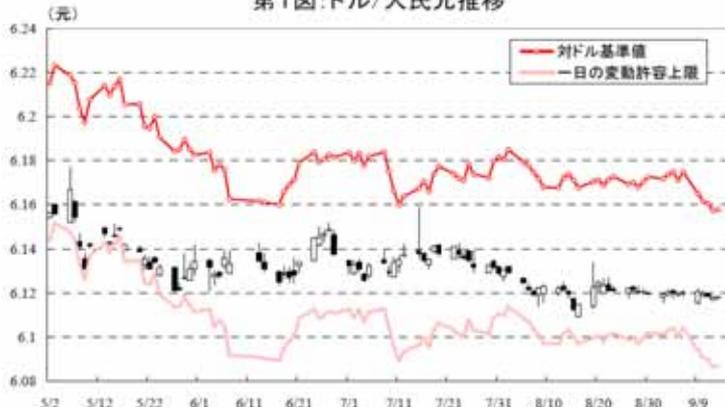
（資料）中国外貨取引センター、中国人民銀行、上海証券取引所資料より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

RMB レビュー&アウトルック

～堅調推移を予想も上値も限定的～

今週の中国人民元は、週初に安値 6.1220 をつけた後は上昇し 6.11 台後半での推移が続いた。中国人民銀行が設定する対ドル基準値は、前週末比元高方向へ切り上がっており、12日には6.1575と最高値を更新した。だが、人民元は6.11台後半でのこう着状態が続いており、基準値による影響は殆ど見られなかった。

第1図：ドル/人民元推移



（資料）Reuters、Bloombergより三菱東京UFJ銀行グローバルマーケットリサーチ作成

今週相次いで発表された8月の経済指標は総じて良好な結果となった。輸出（前年比+7.2%）はアセアン向け（寄与度+2.8%）、米国向け（同+1.1%）が牽引し、市場予想、前月実績共に上回る伸びとなった。また、

鉱工業生産は前年比+10.4%と年初来初めて二桁の伸びを記録し、年初来累計も同+9.5%と前月の+9.4%から上昇した。こうしたなか、世界経済フォーラム主催の夏季ダボス会議で基調講演を行った李首相は「中国のファンダメンタルズは良好」との認識を示した。また、経済成長維持には成長モデルの転換が不可欠であるとも述べ、改革を推し進める姿勢も強調している。こうした李首相の発言からは、資本勘定の規制緩和や自由化に向けた政府の方針が不変であるとみられる。改善しつつある中国景況感と共に資本流入圧力の上昇要因となろう。来週も現水準を中心とした堅調推移を予想する。なお、19日から中秋節のため休場となる。

(9月13日作成) (市場企画部市場ソリューション室 グローバルマーケットリサーチ)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。